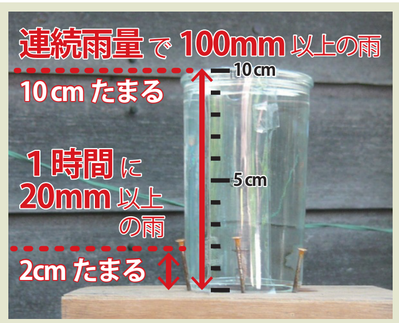
! 雨量に注意する習慣をつけましょう

気象予報などを見るときには、雨量にも気を配る習慣をつけましょう。自宅周辺の雨量を測ることで、自宅周辺の土砂災害の危険の高まりを把握しやすくなります。
右図の雨量が土砂災害発生の危険が高まる目安とされています。

高さ 10cm のカップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です



! 前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう

がけ崩れの発生前には・・・


がけに割れ目が見える

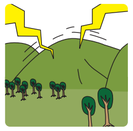

がけから水が湧き出ている


がけから小石がぱらぱら落ちてくる

土石流の発生前には・・・


急に川の流れが濁り、流木が混ざっている


雨が降り続いているのに、川の水位が下がる


山鳴りがする

地すべりの発生前には・・・


沢や井戸の水が濁る


地面にひび割れができる


斜面から水が噴き出す

この他にも・・・

- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる　など

! 情報を積極的に収集し、避難対応に活用しましょう

テレビ・ラジオ
※テレビのデータ放送は下記参照



市や気象庁のホームページ



緊急速報メール（エリアメール）



いわてモバイルメール
※ QRコードから登録できます

防災行政無線・広報車・防災釜石広報 ☎ 0800-8003199
※防災行政無線の放送内容を電話で確認できます



家族、ご近所、お知り合いに聞くのも立派な情報収集！！


住民

自主防災組織（町内会）



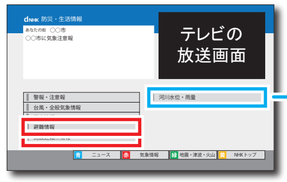
データ放送での確認方法　地デジテレビでNHK（地デジ1ch）を選択し、リモコンのdボタンを選択

❶ 防災・生活情報を選択



（テレビ画面イメージ図）

❷ 確認したい情報を選択



（テレビ画面イメージ図）

❸ 河川の水位・雨量を確認



（テレビ画面イメージ図）

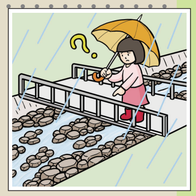
本郷町内会自主避難計画

本郷町内会は、住民全員が雨の量や周辺の様子に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

①　日頃からやっておくこと

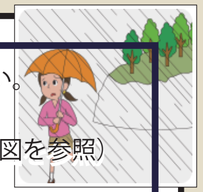
裏面の防災マップを参考に、降雨時に確認できる予兆現象や、自宅周辺の避難場所（比較的安全と思われる場所や建物）、避難経路、住民間の連絡方法を確認しておきましょう。カップ酒の瓶等を用いて、雨量を計測する習慣をつけておきましょう。

②　雨が降り始めたら、自宅周辺の状況に注意を払う



- ●土砂災害が起こる目安の雨が降っていないか、家の外の様子を確認しましょう。（※1 時間に 20mm、連続雨量で 100mm の雨で土砂災害が起こりやすいと言われています。）
- ●**避難開始の目安となる現象**が起きていないか、自宅周辺の様子を確認しましょう。

③ 自主避難基準　に達したら、町内会役員等に報告して、すぐに避難対応！



自主避難基準　以下のような状況になったら、自主避難を開始してください。

- □ 自主避難の基準 が確認された場合（洪水・土砂災害緊急避難地図を参照）
- □ 地域内のがけや沢で **土砂災害の予兆現象**（裏表紙に示す現象）が確認された場合
- □ 釜石市役所が **“避難準備・高齢者等避難開始”、“避難勧告”、“避難指示（緊急）”** を発令した場合

※上記以外の状況でも避難が必要と思う状況になった場合や、台風接近などで早い段階で大雨が予想される場合においても、身を守ることを第一に考えた避難対応をしましょう。

いざというときの避難対応　〃「早めの避難」が重要！ 避難に時間のかかる方は早めの行動が必要です〃

台風や深夜の大雨が事前に予測される場合	唐丹小学校･唐丹中学校 体育館
遠くまでの避難が困難な場合	比較的安全と思われる最寄りの建物・場所へ避難 →本郷入口バス停付近（よしや）
移動に危険が伴う場合（すでに道路が冠水など）	がけや沢から少しでも離れた頑丈な建物の２階以上へ 状況によっては 自宅待機が最も安全な場合もあります 

この計画は、平成 28 年 10 月～12 月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、本郷町内会として検討したものです。裏面の地図に令和元年 10 月の台風 19 号被害状況を追加しました。

釜石市　唐丹地区
洪水・土砂災害緊急避難地図
本郷町内会

現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難勧告等に依存しすぎず、**地域住民自らで危険に気づき、いざというときに避難の判断につなげる**ことが大切です。

住民懇談会で把握した情報

- 避難開始の目安となる現象
- 降雨時に確認される前兆現象
- 過去に発生した災害
- その他の事柄
- 比較的安全と思われる場所や建物

その他の地域情報

避難の目安

避難開始の目安となる現象（赤丸）を参照

【連絡】
消防団巡回監視（異常時）
→要支援者等に戸別に避難の呼びかけ
→スピーカ／町内放送で避難の呼びかけ
→第８分団本部→消防署

土砂災害の危険性

岩手県砂防基礎調査結果に基づく区域
- 土砂災害の危険性が特に高い区域
- 急傾斜地崩壊の危険性が高い区域
- 土石流の危険性が高い区域

岩手県による土砂危険区域
- がけ崩れの発生するおそれのある区域
- 土石流の発生するおそれがある区域

その他の危険性

- 平成 23 年東北地方太平洋沖地震津波の浸水範囲

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の空中写真及び基盤地図情報を使用した。（承認番号　平 28 情使、 第 618 号）

0　100　200　300　400 m

洪水危険区域
・大曽根川上流域の橋付近の水位が1.0m（危険水位）を超えたとき
・流木が出たり、石がゴロゴロ転がり音がするとき

土石流が発生し、住宅・道路等が冠水し、大量の土砂が堆積し寸断された。【令和元年台風19号】

移動が危険な場合（道路冠水など）は、無理に避難所には行かず、自宅を含め、崖や沢から少しでも離れた建物の2階以上へ避難

避難場所
唐丹小学校・唐丹中学校
体育館
車と徒歩で避難

避難場所
・「本郷入口」バス停付近（よしや）
車と徒歩で避難

大曽根川流域で増水・氾濫し、県道・市道に流れ込み土砂・流木等が堆積した。【令和元年台風19号】

本郷コミュニティ消防センター
・土砂災害の危険性が高い
・大曽根川に近く、大雨時、洪水災害の危険性が高い

洪水危険区域
・大曽根川桜並木橋付近の水位が1.5m（危険水位）を超えたとき
・流木が出たり、石がゴロゴロ転がる音がするとき

山笹川の上流は、洪水および土砂流出の危険性が高い

洪水危険区域
・山笹川上流域の橋付近の水位が0.7m（危険水位）を超えたとき
・流木が出たり、石がゴロゴロ転がる音がするとき

裏山の斜面が崩れ、住宅敷地に土砂が堆積した。過去にも複数回崩れている【令和元年台風19号】

洪水危険区域
（家屋裏・河川石垣、高さ 1m）
・北村川県道橋付近の水位が0.7m（危険水位）を超えたとき
・流木が出たり、石がゴロゴロ転がる音がするとき

北村川上流・石塚峠からの濁流により県道に土砂・流木等が堆積【令和元年台風19号】

・暗渠が土砂等で埋没し、氾濫、濁流により県道に土砂・流木が堆積
・道路橋下一部陥没、片側通行
【令和元年台風19号】

大雨で斜面が崩れ、資材置場に土砂・流木等が堆積【令和元年台風19号】

昔の川筋

北村川下流域で増水・氾濫し、建物・納屋が床上浸水し、畑・道路に土砂堆積、小船1隻流出【令和元年台風19号】

沢からの濁流により道路に土砂・流木が堆積した。【令和元年台風19号】

大曽根川と山笹川合流付近で増水・氾濫し、納屋・畑・道路に土砂が堆積した。【令和元年台風19号】

がけ崩れ（昭和 30 年頃）

土砂災害・がけ崩れ危険区域
・道路のがけが崩れた（平成 27 年）
・道路のがけを工事して整備した
・道路のかけ下部の海岸部に土嚢を設置

N

45

平成29年3月作成
※令和元年台風１９号の被害を追加（令和２年３月）